

令和 8 年度

用排水路整備工事（牛袋野地区）
工 事 設 計 書

經濟部

令和 8 年度	工事番号				課長	係長	浄書校合	設計	
工事名	用排水路整備工事（牛袋野地区）								
路線河川名					工事場所	木更津市牛袋野 1 2 1 番地先			
予算科目									
設計金額									
工事価格									
消費税及び地方消費税相当額									
設計説明	工事延長 L=52.519m H鋼土留柵工(6段) N=56スパン 小口止め工 N=1箇所								
					工事期間	令和9年1月29日迄			

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費		式	1			
河川維持		式	1			
河川土工		式	1			
掘削工		式	1			
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3	29			第 1 号内訳書参照
盛土工		式	1			
路体(築堤)盛土	2.5m未満	m3	10			第 2 号内訳書参照
作業土工		式	1			
床掘り	土砂	m3	45			第 3 号内訳書参照
埋戻し	土砂 土質:発生土及び購 入土	m3	73			第 4 号内訳書参照
土材料		m3	18			第 5 号内訳書参照

本 工 事 内 訳 書

2 頁

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
護岸工		式	1			
H鋼土留柵工		式	1			
H鋼土留柵工	6段張り(H=1,800) 56スパン	式	1			第 6 号内訳書参照
排水構造物工		式	1			
側溝工		式	1			
ヒューム管(B形管)	撤去	m	3			第 7 号内訳書参照
ヒューム管(B形管)	外圧管2種	m	5			第 8 号内訳書参照
集水桝・マンホール工		式	1			
現場打ち集水桝	現場打材 18-8-25(高炉) 無し	箇所	1			第 9 号内訳書参照
鋼製グレーチング	蓋種類:T-14 500用 並目	枚	1			第 10 号内訳書参照
撤去物処理工		式	1			

本 工 事 内 訳 書

3 頁

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬処理工		式	1			
殻運搬	コンクリート殻（鉄筋）	m3	0.1			第 11 号内訳書参照
殻処分	コンクリート殻（鉄筋）	t	0.2			第 12 号内訳書参照
仮設工		式	1			
工事用道路工		式	1			
敷鉄板	22×1,524×3,048(mm) 設置・撤去	式	1			第 13 号内訳書参照
土留・仮締切工		式	1			
土のう積		m2	16			第 14 号内訳書参照
水替工		式	1			
ポンプ排水	0以上120(m3/h)未満 常 時排水	式	1			第 15 号内訳書参照
直接工事費		式	1			

本 工 事 内 訳 書

4 頁

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費		式	1			
共通仮設費(積上分)		式	1			
運搬費		式	1			
仮設材輸送		式	1			第 16 号内訳書参照
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
純工事費		式	1			
現場管理費		式	1			
工事原価		式	1			
一般管理費等		式	1			

本 工 事 内 訳 書

5 頁

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格		式	1			
消費税及び消費税相当額		式	1			
工事費計		式	1			

第 1 号 内訳書

掘削

土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削費 掘削		m3	1			第 1 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 2 号 内訳書

路体(築堤)盛土

2.5m未満

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷均し・締固め費 路体（築堤）盛土		m3	1			第 2 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 3 号 内訳書

床掘り

土砂

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削費 床掘り		m3	1			第 3 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 4 号 内訳書

埋戻し

土砂 土質:発生土及び購入土

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し費 埋戻し		m3	1			第 4 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 5 号 内訳書

土材料

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂購入費 土材料		m3	1			第 5 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 6 号 内訳書

H鋼土留柵工

6段張り (H=1,800) 56スパン

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H鋼杭打	L=4,000mm 腹起し材 (L=930mm) 含む	本	53			第 6 号単価表参照
H鋼杭打	L=4,000mm 腹起し材 (L=744mm) 含む	本	1			第 7 号単価表参照
H鋼杭打	L=4,000mm 腹起し材 (L=1,247mm) 含む	本	1			第 8 号単価表参照
H鋼杭打	L=4,000mm 腹起し材 (L=1,238mm) 含む	本	1			第 9 号単価表参照
H鋼杭打	止杭	本	4			第 10 号単価表参照
横矢板設置		m2	90			第 11 号単価表参照
吸出し防止材設置		m2	94			第 12 号単価表参照
現場打ちコンクリート		式	1			第 13 号単価表参照
小口止め工		式	1			第 14 号単価表参照
土のう積工	終点小口部	m2	0.5			第 15 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 7 号 内訳書

ヒューム管(B形管)

撤去

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ヒューム管設置費 ヒューム管（B形管）		m	1			第 16 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 8 号 内訳書

ヒューム管(B形管)

外圧管2種

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ヒューム管設置費 ヒューム管 (B形管)		m	1			第 17 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 9 号 内訳書

現場打ち集水桝

現場打材 18-8-25(高炉) 無し

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
集水桝設置費 現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		箇所	1			第 18 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 10 号 内訳書

鋼製グレーチング

蓋種類:T-14 500用 並目

1 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版材料費 材料費 (枚)		枚	1			第 19 号単価表参照
計	1 枚 当り					

第 11 号 内訳書

殻運搬

コンクリート殻（鉄筋）

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬費 殻運搬		m3	1			第 20 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 12 号 内訳書

殻処分

コンクリート殻（鉄筋）

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 処分費 (t)		t	1			第 21 号単価表参照
計	1 t 当り					

第 13 号 内訳書

敷鉄板

22×1,524×3,048(mm) 設置・撤去

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷鉄板設置・撤去費 敷鉄板設置・撤去		m2	158			第 22 号単価表参照
敷鉄板賃料等 敷鉄板賃料		枚	34			第 23 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 14 号 内訳書

土のう積

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう積費 土のう積工	発生土	m2	1			第 24 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 15 号 内訳書

ポンプ排水

0以上120(m3/h)未満 常時排水

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ポンプ設置撤去費 ポンプ設置・撤去		箇所	1			第 25 号単価表参照
排水ポンプ運転費 ポンプ運転		日				第 26 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 16 号 内訳書

仮設材輸送

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	t	27.3			第 27 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費		t	27.3			第 28 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 1 号 単価表

掘削

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1

J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 2 号 単価表

路体（築堤）盛土

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0. 8～1. 1 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210510
J01 施工幅員 = 1 2.5m未満

第 3 号 単価表 床掘り 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1

J05 費用の内訳 = 1

土砂
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 4 号 単価表

埋戻し

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
ランマ	質量6 0～8 0 k g	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 4 号 単価表

埋戻し

1 m3 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当り					

SCB210410

J01 施工方法 = 5

J04 費用の内訳 = 1

上記以外（小規模）
全ての費用

J02 土質 = 1

土砂

第 5 号 単価表

土材料

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
材料構成比		%	Z			
砂	埋め戻し用	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210550

第 6 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材(L=930mm)含む

1 本 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第1次） 山積0.45m ³	%	K1			
大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕	質量600～800kg級	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
H鋼杭	L=4,000mm 腹起し材:L-930含 固定金具・防錆塗装	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 6 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材 (L=930mm) 含む

1 本 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 本 当り					

SCB321710

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 7 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材(L=744mm)含む

1 本 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第1次） 山積0.45m ³	%	K1			
大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕	質量600～800kg級	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
H鋼杭	L=4,000mm 腹起し材:L-744含 固定金具・防錆塗装	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 7 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材 (L=744mm) 含む

1 本 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 本 当り					

SCB321710

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 8 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材 (L=1,247mm) 含む

1 本 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第1次） 山積0.45m ³	%	K1			
大型ブレーカ（バースマシン含まず）〔油圧式〕	質量600～800kg級	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
H鋼杭	L=4,000mm 腹起し材:L-1,247含 固定金具・防錆塗装	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 8 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材 (L=1,247mm) 含む

1 本 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 本 当り					

SCB321710

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 9 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材(L=1,238mm)含む

1 本 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第1次） 山積0.45m ³	%	K1			
大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕	質量600～800kg級	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
H鋼杭	L=4,000mm 腹起し材:L-1,238含 固定金具・防錆塗装	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 9 号 単価表

H鋼杭打

L=4,000mm 腹起し材 (L=1,238mm) 含む

1 本 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 本 当り					

SCB321710

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 10 号 単価表

H鋼杭打

止杭

1 本 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第1次） 山積0.45m ³	%	K1			
大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕	質量600～800kg級	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
H鋼杭	L=4,000mm 固定金具・防錆塗装	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 10 号 単価表

H鋼杭打

止杭

1 本 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 本 当り					

SCB321710

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 11 号 単価表

横矢板設置

10 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
コンクリート柵板設置	910*298*60	枚	36.88			10/(0.298*0.91)
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB251970

J01 作業区分 = 1

設置

J02 横矢板の厚さ（実数入力）[m] = 0.06

第 12 号 単価表 吸出し防止材設置 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
材料構成比		%	Z			
防止材（吸出・洗掘）	合繊 厚さ 1 0 mm 9.8kN/m	%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB224720

第 13 号 単価表

現場打ちコンクリート

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート		m3	0.2			第 29 号単価表参照
型枠		m2	3			第 30 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 14 号 単価表

小口止め工

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート		m3	0.1			第 29 号単価表参照
型枠		m2	0.9			第 30 号単価表参照
基礎碎石		m2	0.1			第 31 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 15 号 単価表

土のう積工

終点小口部

10 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
植生土のう	4 0 cm × 6 0 cm	枚	170			
普通作業員		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB252620

J01 作業区分 = 1

小口並べ

J02 作業内容 = 2

仕拵・積立

第 16 号 単価表 ヒューム管（B形管） 1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回・クレーン付]	山積0.45m3(平積0.35m3)吊2.9t	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m 当り					

第 16 号

単価表

ヒューム管（B形管）

1

m

当り

2 頁

SCB222860

J01 作業区分 = 2

J10 費用の内訳 = 1

撤去
全ての費用

J02 管径 = 1

200mm

第 17 号 単価表 ヒューム管（B形管） 1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東京単価	積算単価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回・クレーン付]	山積0.45m3(平積0.35m3)吊2.9t	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			
ヒューム管（外圧管 2 種） B 形	2 0 0 × 2 7 × 2 0 0 0	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 17 号 単価表

ヒューム管（B形管）

1 m 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m 当り					

SCB222860

J01 作業区分 = 1

J03 固定基礎 = 4

J10 費用の内訳 = 1

据付

無し

全ての費用

J02 管径 = 1

J05 規格 = 2

200mm

外圧管2種

第 18 号 単価表

現場打ち集水桝・街渠桝（本体）

1 箇所 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0. 8 m 3 （平積0. 6 m 3 ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	1 8－8－2 5 （2 0） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 18 号 単価表

現場打ち集水桝・街渠桝（本体）

1 箇所 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 箇所 当り					

SCB222950

J01 コンクリート規格 = 14

J03 コンクリート打設工法 = 2

18-8-25（高炉）

人力打設

J02 1箇所当りコンクリート使用量 = 2

J04 養生工の種類 = 1

0.22m3を超え0.24m3以下

一般養生・特殊養生（練炭）

第 19 号 単価表

材料費 (枚)

1 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
集水枿用グレーチング	T-14 500用 並目 受枠・鎖付	枚	1			
計	1 枚 当り					

SWB020016

第 20 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3

J03 DID区間の有無 = 1

J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎

無し

全ての費用

J02 積込工法区分 = 4

J09 運搬距離 (km) (DID区間無) = 7 4.5km以下

機械積込 (小規模土工)

第 21 号 単価表

処分費 (t)

100 t 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
有筋 2 次処分費	君津	t	100			
計	100 t 当り					
	1 t 当り					

SWB020052

第 22 号 単価表

敷鉄板設置・撤去

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
バックホウ（クローラ型）運転		日				第 32 号単価表参照
諸雑費（率＋まるめ）		式				
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB253610

J01 作業区分 = 3

設置・撤去

第 23 号 単価表

敷鉄板賃料

1 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板賃料		枚・日	10			
整備費（敷鉄板）	2 2 × 1 5 2 4 × 3 0 4 8 mm	枚	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 枚 当り					

SWB253630

J01 敷鉄板の種類 = 2 22×1,524×3,048 (mm)

J04 供用日数（日）（実数入力）[日] = 10

J02 不足分弁償金の有無 = 1 無

J05 整備費の有無 = 2 有

第 24 号 単価表

土のう積工

発生土

10 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう	6 2 × 4 8 c m	袋	140			
普通作業員		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB252620

J01 作業区分 = 2

側面並べ

J02 作業内容 = 1

仕拵・積立・撤去

第 25 号 単価表

ポンプ設置・撤去

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転		日				第 33 号単価表参照
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 箇所 当り					

SWB252320

第 26 号 単価表

ポンプ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
工事用水中ポンプ運転		日				第 34 号単価表参照
発動発電機運転		日				第 35 号単価表参照
諸雑費（率＋まるめ）		式				
計	1 日 当り					

SWB252310

J01 排水量区分 = 1
J03 排水方法 = 2

0以上120 (m3/h) 未満
常時排水

J02 全揚程 = 1

10m

第 27 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分 A	製品長12m以内 10kmまで	t	2			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1 関東・中部・近畿
J04 製品長区分 = 1 12m以内
J06 運搬割増率 (実数入力) = 0

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 8.8
J05 運搬割増率 = 4 各種 (実数入力)
J07 その他の諸料金の有無 = 2 無

第 28 号 単価表

仮設材等の積み取り費

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積み、取り費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積み、取り（往復分）

第 29 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
運転手 (特殊)		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 29 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2

J03 コンクリート規格 = 41

J13 費用の内訳 = 1

小型構造物

18-8-25 (高炉)

全ての費用

J02 打設工法 = 3

J05 養生工の種類 = 2

バックホウ (クレーン機能付) 打設

一般養生

第 30 号 単価表

型枠

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2 当り					

SCB240210

J01 型枠の種類 = 1

一般型枠

J02 構造物の種類 = 2

小型構造物

第 31 号 単価表

基礎砕石

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 31 号 単価表

基礎碎石

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m2 当り					

SCB221110

J01 碎石の厚さ = 2
J03 費用の内訳 = 1

7.5cmを超え12.5cm以下
全ての費用

J02 碎石の種類 = 8

再生クラッシュラン 40〜0

第 32 号 単価表

バックホウ（クローラ型）運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
バックホウ（クローラ）〔標準・クレーン機能付き〕	山積0.8m3（平積0.6m3）2.9t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250590

第 33 号 単価表

バックホウ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
バックホウ（クローラ）〔標準・クレーン機能付き〕	山積0.8m3（平積0.6m3）2.9t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250540

第 34 号 単価表

工事用水中ポンプ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事用水中モータポンプ [普通型]	潜水ポンプ 口径 200mm 全揚程 10m	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250400

J01 排水量区分 = 1
J03 排水方法 = 2

0以上120 (m3/h) 未満
常時排水

J02 全揚程 = 1

10m

第 35 号 単価表

発動発電機運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軽油		L				
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	4 5 k V A	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SWK250410

J01 排水量区分 = 1

0以上120 (m3/h) 未満

J02 全揚程 = 1

10m

J03 排水方法 = 2

常時排水

用排水路整備工事(牛袋野地区)数量集計表

令和8年度

	種 別	規 格	計 算 式	単位	設計数量
土工	掘削	小規模土工	土工数量計算書より 29.2 = 29.2	m3	29
	盛土	小規模土工	土工数量計算書より 9.8 = 9.8	m3	10
	床掘	小規模土工	土工数量計算書より 44.5 = 44.5	m3	45
	埋戻し	小規模土工	土工数量計算書より 72.9 = 72.9	m3	73
	購入土	埋戻し用砂	埋戻し 盛土 植生土のう (72.9 + 9.8) ÷ 0.9 + 0.5 × 0.34 掘削 床掘 = 29.2 - 44.5 = 18.4	m3	18
H鋼土留柵工	H鋼土留柵工	H=1,800 56スパン ・53スパン(杭間930) ・3スパン(杭間744～1,247)		式	1
	H鋼杭打ち込み	L=4,000(杭間930) 腹起し材含む	N= 53 = 53	本	53
	H鋼杭打ち込み	L=4000(杭間744～1,247) 腹起し材含む	N= 3 = 3	本	3
	H鋼杭打ち込み	L=4,000 止め杭	N= 4 = 4	本	4
	柵板設置	・910×298×60 ・734～1,237×298×60	(杭間930) スパン 1杭間枚数 一枚当たり面積 51 × 6 × 0.271 = 83 (管渠放流部 杭間930) スパン 1杭間枚数 一枚当たり面積 2 × 3 × 0.271 = 1.6 (杭間744～1,247) 平均柵板長×板高×段数×スパン数 (0.734+1.237+1.228)/ 3 × 0.298 × 6 × 3 = 5.7 合計 = 90.3	m2	90
	防止材(吸出・洗掘)	t=10mm 9.8N/mm2	(杭間930) 杭間 スパン 張高 0.93 × 53 × 1.8 = 88.7 (杭間744～1,247) 平均杭間長×板高×段数×スパン数 (0.744+1.247+1.238)/ 3 × 0.298 × 6 × 3 = 5.8 合計 = 94.5	m2	94
	現場打ちコンクリート	・管渠放流部 (生コン) 18-8-25(20)BB (型枠) 一般型枠	(生コン) 図面より 箇所 0.08 × 2 = 0.2 (型枠) 図面より 箇所 1.5 × 2 = 3	m3 m2	0.2 3
	小口止め工	(生コン) 18-8-25(20)BB (型枠) 一般型枠 (基礎砕石) RC-40 t=10cm	(生コン) 幅 長さ 高さ 0.1 × 0.5 × 1.8 = 0.09 (型枠) 長さ 高さ 0.5 × 1.8 = 0.9 (基礎砕石) 幅 長さ 0.1 × 0.5 = 0.05	m3 m2 m2	0.1 0.9 0.1
	小口土のう	植生土のう 小口並べ	高さ 幅 1.2 × 0.4 = 0.5	m2	0.5

用排水路整備工事(牛袋野地区)数量集計表

令和8年度

排水 構造 物工	既設ヒューム管	撤去 φ200	延長 3.0 = 3.0	m	3
	ヒューム管	設置 φ200(B型 2種)	延長 延長 3.1 + 1.6 = 4.7	m	5
	現場打ち集水桝	500*500*500	箇所 1 = 1	箇所	1
	集水桝用グレーチング	T-14 500*500用 受枠・鎖付き	枚 1 = 1	枚	1
処分 工	CO塊処分	有筋2次Co塊 (有)渡辺産業 (運搬距離:3.6km)	既設ヒューム管 V= 0.02 × 3.0 = 0.1	m3	0.1
仮 締 切 工	土のう積工	側面並べ 2段積み	延長 起終点部 (52.5 + 0.5 × 2) × 0.3 = 16.1	m2	16
水 替 工	ポンプ排水	0以上120(m3/h)未満 常時排水	N= 1 箇所 D= 9 日	箇所 日	1 9
工事 用 道 路 工	敷鉄板設置撤去	22 × 1524 × 3048	34 = 34.0	枚	34
			34 × (1.524 × 3.048) = 158	m2	158
			34 × 0.022 × 1.524 × 3.048 × 7.850 = 27.3	t	27.3

土工数量計算書

測点 (水路センター)	距離	掘削			盛土			床掘			埋戻し		
		断面数量	平均	数量	断面数量	平均	数量	断面数量	平均	数量	断面数量	平均	数量
		m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m3	m2	m2	m3
No.30+19.386	—	0.7	—	—	0.0	—	—	1.5	—	—	1.5	—	—
No.31	0.614	0.7	0.70	0.4	0.0	0.00	0.0	1.5	1.50	0.9	1.5	1.50	0.9
IP17A	17.048	0.6	0.65	11.1	0.3	0.15	2.6	0.5	1.00	17.0	1.4	1.45	24.7
IP17B	—	0.4	—	—	0.3	—	—	0.4	—	—	1.5	—	—
No.32	2.952	0.6	0.50	1.5	0.3	0.30	0.9	0.4	0.40	1.2	1.4	1.45	4.3
IP18A	11.597	0.5	0.55	6.4	0.2	0.25	2.9	0.6	0.50	5.8	1.4	1.40	16.2
IP18B	—	0.5	—	—	0.2	—	—	0.6	—	—	1.4	—	—
No.33	8.403	0.5	0.50	4.2	0.2	0.20	1.7	1.0	0.80	6.7	1.2	1.30	10.9
IP19A	6.337	0.5	0.50	3.2	0.1	0.15	1.0	1.1	1.05	6.7	1.2	1.20	7.6
IP19B	—	0.5	—	—	0.1	—	—	1.0	—	—	1.2	—	—
No.33+13.225	6.888	0.2	0.35	2.4	0.1	0.10	0.7	0.8	0.90	6.2	1.2	1.20	8.3
計	53.839			29.2			9.8			44.5			72.4

工 事 特 記 仕 様 書

第1章 総 則

第 1 条(適用)

この特記仕様書は、千葉県土木工事共通仕様書(令和7年度版)(以下、「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

第 2 条(通則)

1. 本工事の受注者は、工事請負契約書、共通仕様書、設計書、本特記仕様書等および関係法規に基づいて施工しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工にあたり、常に監督員と連絡を密にし、工事内容に疑義が生じた場合には、速やかに報告しその都度監督員の指示を受けなければならない。

第 3 条(設計変更)

設計変更等については、契約書第19条から第25条及び共通仕様書第1編共通編1-1-13から1-1-15に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約に係る設計変更等ガイドライン 令和4年4月」(木更津市)によることとする。

第 4 条(コリンズへの登録)

受注者は受注時又は変更時において工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督者に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものである。

第 5 条(施工管理)

1. 本工事の施工にあたっては、千葉県県土整備部が定める千葉県土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。
2. 工事写真管理は、千葉県土木工事施工管理基準に記載する写真管理基準による。
3. 工事写真の用紙は、厚み0.15mm 程度とし、写真用・インクジェット用等を使用するものとする。

第 6 条(工事中の安全確保)

1. 工事の施工にあたっては、道路工事保安施設設置基準に基づき適切な交通管理を行うものとする。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議するものとする。
2. 工事実施期間中は、公道の出入口等に誘導員を配置させ安全確保に努めなければならない。交通規制をかけ工事を行う場合は、耕作者や地元住民の通行の支障となることが最小限になるよう努めるものとする。
3. 工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ道路灯、バリケード等の保安施設の安全点検を行うものとする。
4. 工事の施工に際し、事前に地下埋設物の調査を行い埋設物がある場合は、その管理者と発注者と受注者が現地立会のうえ、当該物件の位置深さ等を確認し、保安対策について十分打ち合わせを行い、事故の発生を防止しなければならない。
5. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、監督員に報告するとともに、関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
6. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置について占用企業全体と発注者と受注者が立会い、管理者を明確にしなければならない。

第 7 条(工事現場管理)

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 過積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
2. さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
3. 受注者は、ダンプトラックを使用する工事施工に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という。)の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進するよう配慮するものとする。
4. 受注者は、下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
5. 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
6. 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行い、または、さし柵装着車、不表示車を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
7. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
8. 不法・違法無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
9. 以上のことにつき下請業者にも十分指導すること。

第 8 条(使用機械)

本工事の施工にあたり下記の建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。ただし、指定されていない建設機械を使用する場合は監督員と協議するものとする。

機種	備考
一般工事用建設機械 ・ バックホ ・ トラクションバル(車輪式) ・ ブルドーザー ・ 発電発電機(過般式) ・ 空気圧縮機(過般式) ・ ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ ホールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力 7.5kw 以上 260kw 以下)を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車車検証の交付を受けているものは除く。
・ オート法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車の交付を受けているもの ・ 排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの	

また、本工事においては騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督員の承諾を得なければならない。

第 9 条(安全訓練等の実施)

本工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について工事着手後原則として作業全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全訓練等を実施するものとする。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
2. 本工事内容等の周知徹底
3. 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
4. 本工事における安全対策訓練
5. 本工事現場で予想される事故対策
6. その他、安全訓練として必要な事項

第 10 条(安全訓練等に関する施工計画の作成)

施工に先立ち施工計画書に本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

第 11 条(安全訓練等の実施状況報告)

安全訓練等の実施状況を報告するものとする。

第 12 条(環境対策)

受注者は、千葉県が運用している環境マネジメントシステムの構成要素をなす「公共事業における環境影響の低減」を推進し達成するため施工計画の環境対策内に独立した項目として「環境に配慮した工事の実施計画」について記載するものとする。

第 13 条(工期及び作業時間帯)

工期は、雨天・休日等を見込み、令和9年1月29日までとする。

なお、休日等には、日曜日・祝日・その他作業期間内の全土曜日を含んでおり、本工事において、交通規制を伴う工事の時間帯については9時から17時とする。

また、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

第 14 条(法定外の労災保険の付保)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第2章 建設副産物

第 15 条(共通事項)

1. コブリス・プラスの登録対象工事については、当該工事に関する必要な情報を登録し、監督員へ書類の提出をすること。

なお、「建設副産物情報交換システム」と明示されているものについては、当面の間「コブリス・プラス」に読み替えるものとする。

「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」と合わせて提出するとともに、これからの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。

○作成対象工事

請負金額100万円以上のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・

排出の量の大小及び有無にかかわらず作成する。

2. 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
3. 建設廃棄物の処理を委託する場合は、運搬あるいは処理について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。
4. 建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督員に2部提出するとともに、実際に要した処理費等(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督員に提出し確認を受けること。
5. 建設廃棄物の処理にあたっては、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式の場合は、複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、建設廃棄物引き渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷し提出すること。

第16条(建設発生土)

1. ~~本工事により発生する建設発生土は、(市、運搬距離k~~
~~m)に運搬し、処理するものとする。~~

~~なお、工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督員と協議するものとする。~~

第17条(建設廃棄物)

1. 本工事により発生するコンクリート殻は、有限会社 渡辺産業(袖ヶ浦市神納字下大川端1802-1、運搬距離3.6km)に運搬し、処理するものとする。
2. ~~本工事により発生する舗装切断汚泥は、(木更津市、運搬距離~~
~~km)に運搬し、処理するものとする。~~

~~なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督員に報告するものとする。工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督員と協議するものとする。~~

第3章 建設リサイクル法

第18条(特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置)

1. 本工事が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)」。以下「建設リサイクル法」という」に基づく対象建設工事である場合は、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
なお、建設工事請負約款の「解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、協議するものとする。

2. 受注者は特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等した施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、書面に添付する資料は「建設リサイクルガイドラインに定めた様式1[再生資源利用計画書(実施書)]及び様式2[再生資源利用促進計画書(実施書)]を使用するものとする。

第19条(請け負おうとする建設業者からの事前説明に関する事項)

1. 建設リサイクル法第12条で、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し対象建設工事の届出に関する事項に記載した書面(説明書)を提出し説明を行うこととする。
2. 書面の提出は、契約に先立って行うこととする。
3. 書面は施工計画書に添付するものとする。

第4章 材 料、品質管理、出来形管理

第20条(確認)

工事に使用する材料は、品質を証明する資料(品質証明書、成績表)を提出しなければならない。

第21条(品質管理)

品質検査は、照合による検査(品質外観、品質規格証明等照合して判定することをいう)を原則とする。

工事材料について資料の提出、検査を前提に定めたが、JIS規格外等でこれによりがたい場合は、試験方法及び監督員の立会承諾等の有無など他の方法を明記した資料を提出すること。

施工条件明示表

木更津市経済部農林水産課

工事名 用排水路整備工事（牛袋野地区）

工事箇所 木更津市牛袋野 1 2 1 番地先

明示項目	明示事項
工程関係	施工計画書に則り工程管理を実施し、工期を遵守すること。 関係機関等と調整完了後直ちに着手し早期完了に努めること。
用地関係	用地境界には十分配慮し近接地主と協調を保ち、いたずらに摩擦を起こさないようにすること。
公害対策関係	振動・騒音は十分注意して工事を行なうこと。 水質汚濁等に十分配慮すること。 異変に気づいた場合に直ちに監督員に連絡し誠意をもってその処置にあたること。 木更津市環境保全条例第 6 条に基づき、同条例 46 条の特定建設作業の届出を木更津市環境部に行うこと。
安全対策関係	標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置すること。 なお、施工にあたり、管轄警察署及び消防署とよく協議すること。
工事用道路関係	進入路として一般道および民地を使用する際に損傷等を与えない様に十分留意すること。また損傷等生じた場合は、請負者の責において原形に復旧すること。
仮設備関係	仮設備を利用して施工する場合は、上記工程関係、公害対策関係及び安全対策関係に十分配慮すること。
建設副産物関係	特記仕様書のとおり。
工事支障物件等	支障物件等を確認した場合は、監督員に報告し協議すること。
その他	工事施工にあたっては、「千葉県土木工事共通仕様書」に準拠するものとするが、これにより難しい場合は監督員と協議すること。 施工計画書、承認申請書、工事状況写真等書類編冊にあたっては原則 A 4 版とする。 ダンプカー過積載による違反運行の防止に努めること。